建設水道常任委員会

阪神水道企業団尼崎浄水場にて危機管理対策の取り組み等を視察

平成19年10月17日から３日間の日程で兵庫県尼崎市、鳥取県倉吉市、島根県出雲市において視察研修を実施しました。17日は阪神水道企業団尼崎浄水場において、阪神大震災での被害状況とその後の危機管理対策の取り組み、用水単価と料金設定について意見交換を行い、施設の有効活用として地下浄水池の地上部をホームセンターに貸出し、経営改善に努められていました。18日の倉吉市では、街なみ環境整備事業においてまちづくり協定書を結び、補助制度により昔の街なみに修景し、白壁土蔵群など歴史的資源を活用した交流人口による活性化を推進していました。19日は出雲市中ノ島地区において幹線道路、市街地環状道路の整備と新たな商店街の形成と既存住宅地の住環境改善を図るため区画整備を完遂させ、まちづくり功労者として平成18年国土交通大臣表彰を受賞した地区の視察研修を行いました。

議会運営委員会

平成19年11月５日、６日の２日間の日程で福島県須賀川市議会、群馬県渋川市議会を訪問し、政務調査費の状況と議会運営について視察研修しました。担当職員より説明を受け、活発な質疑が行われました。特徴的な内容は、①委員会構成は各会派按分にて構成されている。②予算決算の審議は特別委員会で審議されている。③一般質問は１日６人で、１人質問のみ45分（須賀川市）、１人答弁を含み60分（渋川市）となっている。④政務調査費は、１人月額３万円（須賀川市）、１万円（渋川市）となっている。⑤政務調査費報告書は情報公開をしている等々でした。

両議会とも特色を持ち活発に議会運営が行われていました。今後一般質問等を充実させ活発な討議を行い、市民の側に立ち、良いものを生み出し、研修の成果を出して参ります。

渋川市議会にて